

# 社会「さまざまな土地の暮らし①」

氏名( 解 答 例 )

★ あたたかい土地・寒い土地の暮らしの様子や工夫についてまとめましょう。

	あたたかい土地：沖縄県那覇市 (教科書 P.30～37、資料集 P.28～29)	寒い土地：北海道旭川市 (教科書 P.38～45、資料集 P.30～31)
位置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の南西にあり、本州からは遠くはなれている。</li> <li>・西のはしに与那国島、その先に台湾がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の北に位置し、本州とは津軽海峡でへだてられている。</li> <li>・旭川市は、北海道のほぼ中央にあり、山々に囲まれている。</li> </ul>
気候	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年を通して気温が高く、雨が多い。</li> <li>・台風の進路に当たることが多く、大きな被害が出る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温が低く、夏はすずしいが、平均気温が0度を下回る月が4か月あり、寒さがきびしい。</li> </ul>
暮らしの様子・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔と今で台風の風や暑さを防ぐ工夫がちがう。</li> <li>昔…ふくぎを家のまわりに植える。さんごを積んだ石がきで家をかこう。屋根を低くする。戸口を広くする。</li> <li>今…コンクリートづくりの家。平らな屋根。白い壁。</li> <li>・水不足にそなえて、給水タンクを屋上に置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒さへのそなえ…断熱材、二重窓、暖房器具など</li> <li>・雪へのそなえ…家は、平らでがんじょうな屋根、ロードヒーティングなど</li> <li>道路は、融雪溝やロードヒーティング、除雪車の除雪など</li> </ul>
さかんな産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さとうきび作り…あたたかい土地で育ち、強風や日照り、水不足に強い。作業の機械化。防風林で塩害にそなえる。</li> <li>・きく…冬でも育つ。電灯で花の咲く時期を調節。平張りのしせつで台風や害虫にそなえる。</li> <li>・観光業…過ごしやすい気候、美しい海、豊かな自然を生かす。伝統的な文化など、沖縄県のみりよくを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米作り…平らで広い土地や雪解け水を生かす。</li> <li>・野菜作り…すずしい気候で害虫が少ないので、農薬を使わないですむ。ハウス栽培などの工夫で、多くの野菜を生産。</li> <li>・観光業…雪の多さや寒さを活かしている。冬でも楽しめるイベントが多い。(旭川冬まつり、バーサーロペット・ジャパンなど)</li> </ul>
調べた感想・考えたこと		

# 社会「さまざまな土地の暮らし②」

氏名( 解 答 例 )

★ 低い土地・高い土地の暮らしの様子や工夫についてまとめましょう。

低い土地:岐阜県海津町(教科書 P.46~53、資料集 P.22~23)	高い土地:群馬県嬭恋村(教科書 P.56~63、資料集 P.24~25)
<p>(土地の様子 P.46~47)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな川にはさまれていて、川よりも土地の高さが低い。</li> <li>・「輪中」という土地。</li> </ul>	<p>(土地の様子 P.56~57)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高さ2000mをこえる山々に囲まれている。</li> <li>・火山灰がふり積もってできた高原が広がっている。</li> </ul>
<p>(どんな苦労があったか? P.47~48)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大雨や台風で川の水が増えると、家や田畑が水につかってしまう。</li> <li>・水害による被害(死者やこわれた家・田畑)が大きい。</li> </ul>	<p>(気候 P.56~57)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏はずすくすごしやすいが、昼と夜の気温差が大きく、雨も多い。</li> <li>・冬は寒さがきびしく、雪がふる。</li> </ul>
<p>(昔の人々の努力と工夫 P.48~49)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2回の治水工事(平田靱負、ヨハネス・デ・レーケ)</li> <li>・高く積み上げた石がきの上に家を建てた。</li> <li>・水屋というひなん場所をつくり、保存食やひなん用の舟をそなえた。</li> </ul>	<p>(高原でのキャベツづくり・気候を生かした出荷 P.58~60)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知のほとんどが畑になっている。</li> <li>・2月から10月まで農作業をしている。</li> <li>・機械やトラクターなどを活用しているが、収穫は手作業で行う。</li> <li>・夏のすずしい気候を生かして7月から10月ごろに出荷する。</li> </ul>
<p>(農業について P.50~51)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔…ほり田や田舟を使って作業していたが、大変な作業だった。</li> <li>・今…土地改良と排水機場のおかげで、水になやむことがなく、広い土地と豊かな水を生かして米や野菜などが作れる。</li> </ul>	<p>(キャベツの山地になるまでの苦労 P.61)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・130年ほど前にキャベツづくりが始まった。</li> <li>・キャベツづくりの広がりとともに、森林の開たくが進む。</li> <li>・国、県、村の協力で、農地開発が進み、耕地面積が増え、道路が整えられた。</li> </ul>
<p>(自然とともに生きるために P.52~53)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今も水害へのそなえは続けている。…水防訓練・水防倉庫の点検・川の水位のかんし・国による工事など</li> <li>・木曾三川公園や水辺のスポーツなど、水と親しみ自然を楽しめる。</li> </ul>	<p>(気候や自然を生かした観光業 P.62~63)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四季を通して見どころがいっぱいある。</li> <li>・温泉が多い。</li> <li>・ジオパークでの活動や自然保護活動をとおして、自然環境を保全し、自然や文化を伝えている。</li> </ul>
<p>(調べた感想・考えたこと)</p>	<p>(調べた感想・考えたこと)</p>